

2024年8月14日

各位

会社名 株式会社ビューティカダンホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 舛田 正一
 (コード：3041 東証スタンダード)
 問合せ先 専務取締役経営管理本部長 三島 まりこ
 (TEL. 096-370-0004)

連結業績予想値と実績値との差異及び個別業績の前期実績との差異
 並びに剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2024年6月期（2023年7月1日～2024年6月30日）通期決算における、2023年8月14日に公表した2024年6月期の連結業績予想と、本日公表の実績との差異及び個別業績における前期実績値との差異につきまして、お知らせいたします。

また、2024年8月14日開催の取締役会において、2024年6月30日を基準日とする剰余金の配当について、2024年9月25日開催予定の第28期定時株主総会に付議することを決議しましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想数値と実績値との差異

①2024年6月期通期連結業績予想と実績の差異（2023年7月1日～2024年6月30日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 6,600	百万円 150	百万円 150	百万円 110	円 銭 27.16
実績値（B）	6,982	84	99	28	7.04
増減額（B-A）	382	△65	△50	△81	
増減率（%）	5.8	△43.4	△33.6	△74.1	
（参考）前期連結実績 （2023年6月期）	6,413	124	135	88	21.93

②差異の理由

売上高につきましては、生花祭壇事業をはじめ各事業ともに総じて回復基調にあったことから、予想を上回りましたが、利益面につきましては、農業部門において連作障害により収益が悪化したこと、全般的に原材料費の高騰や人件費上昇等の影響を受けたこと、及びホールディングス化に伴う費用が計画よりも増加したことにより当初計画を下回る結果となりました。

2. 個別業績の前期実績値との差異

①2024年6月期個別業績と前期実績値との差異（2023年7月1日～2024年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値（A）	百万円 2,621	百万円 △98	百万円 37	百万円 33	円 銭 8.33
当期実績値（B）	1,685	31	70	68	16.91
増減額（B-A）	△935	130	32	34	
増減率（％）	△35.7	—	86.4	103.1	

②差異の理由

売上高につきましては、2024年1月1日付で持株会社体制へ移行し、それまでの生花祭壇事業の売上を完全子会社である株式会社ビューティ花壇東日本と株式会社ビューティ花壇西日本へ承継させたことにより、当期実績値は2023年7月から12月までの6ヶ月間の業績となっているため減少しております。利益面につきましては、上述の体制移行にともない、本年1月1日以降は子会社からの経営管理料及び配当を売上として計上しているため、前期比で増加しています。

3. 剰余金の配当について

①2024年6月期配当

	決定額	直近の配当予測 (2023年8月14日公表)	前年実績 (2023年6月期)
基準日	2024年6月30日	同左	2023年6月30日
1株当たり配当金	4円00銭	13円58銭	9円00銭
配当金の総額	16,229千円	—	36,445千円
効力発生日	2024年9月26日	—	2023年9月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

②理由

当社は、健全な財務体質を堅持するため持続的な成長に必要な十分な株主資本の水準を保持し、企業価値向上と株主の皆様への利益還元のバランスを最適化することを基本に、原則として連結配当性向50%を目安とすることを基本方針としております。

上記に基づき、本日開示いたしました2024年6月期の業績及び会社法で定められている配当に必要な分配可能額を踏まえ、1株当たり期末配当金を4円00銭とすることといたしました。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	年間
2024年6月期	—	4円00銭	4円00銭
2023年6月期実績	—	9円00銭	9円00銭

以上